

2020年6月16日 速報版

大阪における文化芸術関係者への 新型コロナウイルスの影響に関する 実態調査 報告書

調査主体：一般財団法人おおさか創造千島財団

協力：大阪アーツカウンシル

調査の要約

① 文化芸術関係者への影響

- 大阪で文化芸術に関わる個人および団体・事業所が調査対象、
有効回答数は910件（個人が748件、団体・事業所が162件）
- 有効回答者のうち、**主たる発表・活動場所を大阪市とする割合が**
個人および団体・事業所共に**8割弱**（個人78%、団体・事業所77%）
- **約9割の回答**で感染拡大防止のために中止・延期の影響がある。
(個人89%、団体・事業所93%)

② 収入の損失の規模と傾向

- 延期・中止による収入の損失積算額（実績及び見込み）の平均額は、
【2～5月の実績】 **個人が約62万円、団体・事業所が約528万円**
【6～12月の見込み】 **個人が約121万円、団体・事業所が約852万円**
- 技能分野別に見ると、【6～12月】の団体・事業所において、
「**技術提供**」「**施設運営**」の損失積算額（見込み）の平均が
1,000万円を上回る。それに「**企画制作**」が続く。

③ 困っていること

- 【現在】 困っていることは、
個人、団体・事業所とも「**創作発表の機会が失われたこと**」と
「**活動再開のタイミングや方法が分からないこと**」の回答が多い。
- 【半年～1年先】 に困りそうなことは、
個人では「**創作発表の機会が減少すること**」、団体・事業所では
「**観客や顧客が戻ってこないこと**」の回答が多い。

④ どのような支援が必要か

- 最も必要とする支援は、
「文化芸術活動の再開や新規展開事業に向けた支援」や
「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援」。
- 「文化芸術活動に関する情報発信、周知・啓発、提言」や
「文化芸術活動に必要な衛生物資や備品等の支援」のニーズも高い。

調査の概要

調査目的

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う活動自粛の要請等によって、大阪府在住または大阪府内を活動拠点としている文化芸術に関わる個人（実演家、創作者、技術者、制作者など）や団体、事業所が受けている影響やニーズ等の実態を把握し、今後の行政や民間の文化芸術への支援の必要性や内容、方法の検討に資するものとする。

調査対象

文化芸術に関わる個人、団体・事業所を調査対象とした。

● 文化芸術に関わる個人

- 実演家（歌手、奏者、俳優、舞踏家など）
- 創作者（作曲家、劇作家、演出家、振付家、美術家、映像作家など）
- 制作者（プロデューサー、マネージャー、コーディネーターなど）
- 技術者（舞台、音響、照明、会館管理、衣装、展示設営など）など

● 文化芸術に関わる団体・事業所

- 実演に関わる団体・事業所（楽団、劇団、舞踏団など）
- 制作に関わる団体・事業所（プロダクション、プロモーター、企画会社）
- 技術に関わる団体・事業所（技術会社、設営会社）
- 施設に関わる団体・事業所（ホール、劇場、ライブハウス、スタジオ、美術館、ギャラリー、映画館など）
- 教育に関わる団体・事業所（教室、稽古、養成所など）
- サービスに関わる団体・事業所（司会、スタッフ派遣）など

調査方法

- ウェブアンケートによる配布・回収
- 無記名による回答

調査期間

- 2020年5月28日（木）から6月5日（金）まで【9日間】

回答数

- 有効回答数は合計910件（個人対象748件、団体・事業所対象162件）

| | 個人対象 | 団体・事業所対象 | 合計 |
|--------------|------------|------------|------------|
| 回答総数 | 772 | 169 | 941 |
| 無効回答* | 24 | 7 | 31 |
| 有効回答数 | 748 | 162 | 910 |

※ 重複回答、居住地（所在地）と活動地がともに大阪府外の回答は無効回答とした。

調査内容

| ① 個人対象アンケート | |
|---|--------|
| 性別・年代 | 14 |
| 居住地・活動地 | 15, 16 |
| 活動年数 | 17 |
| 主たる表現分野、主たる技能分野 | 18, 19 |
| 感染拡大防止のための中止・延期があるか・何件か | 20 |
| 延期・中止による収入の損失積算額【2月～5月・実績】、 【6月～12月・見込み】 | 21 |
| 技能分野別の収入の損失額【2月～5月・実績】、 【6月～12月・見込み】 | 22 |
| 文化芸術活動とは別の仕事 | 23 |
| 技能分野別による文化芸術のみの従事者 | 24 |
| 別の仕事の雇用形態 | 25 |
| 別の仕事の収入の損失 | 26 |
| 現在困っていること | 27 |
| 半年～1年先に困りそうなこと | 28 |
| 必要としている支援 | 29 |
| 活用している、または活用を検討している支援策や制度 | 30 |

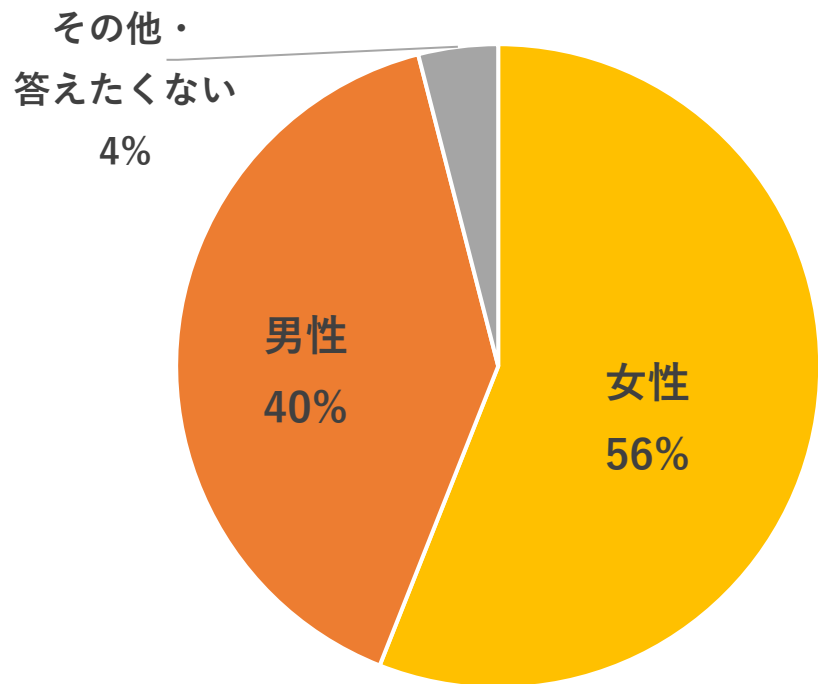
| ② 団体・事業所対象アンケート | |
|---|--------|
| 経営形態・活動開始年 | 32, 33 |
| 所在地・活動地 | 34, 35 |
| 団体・事業所の従業者数【有償】 【無償】 | 36 |
| 主たる表現分野、主たる技能分野 | 37, 38 |
| 感染拡大防止のための中止・延期があるか・何件か | 39 |
| 延期・中止による収入の損失積算額【2月～5月・実績】、 【6月～12月・見込み】 | 40 |
| 技能分野別の収入の損失額【2月～5月・実績】、 【6月～12月・見込み】 | 41 |
| 文化芸術活動とは別の業務 | 42 |
| 別業務の分野 | 43 |
| 別業務の収入の損失 | 44 |
| 現在困っていること | 45 |
| 半年～1年先に困りそうなこと | 46 |
| 必要としている支援 | 47 |
| 活用している、または活用を検討している支援策や制度 | 48 |

調査対象 ①

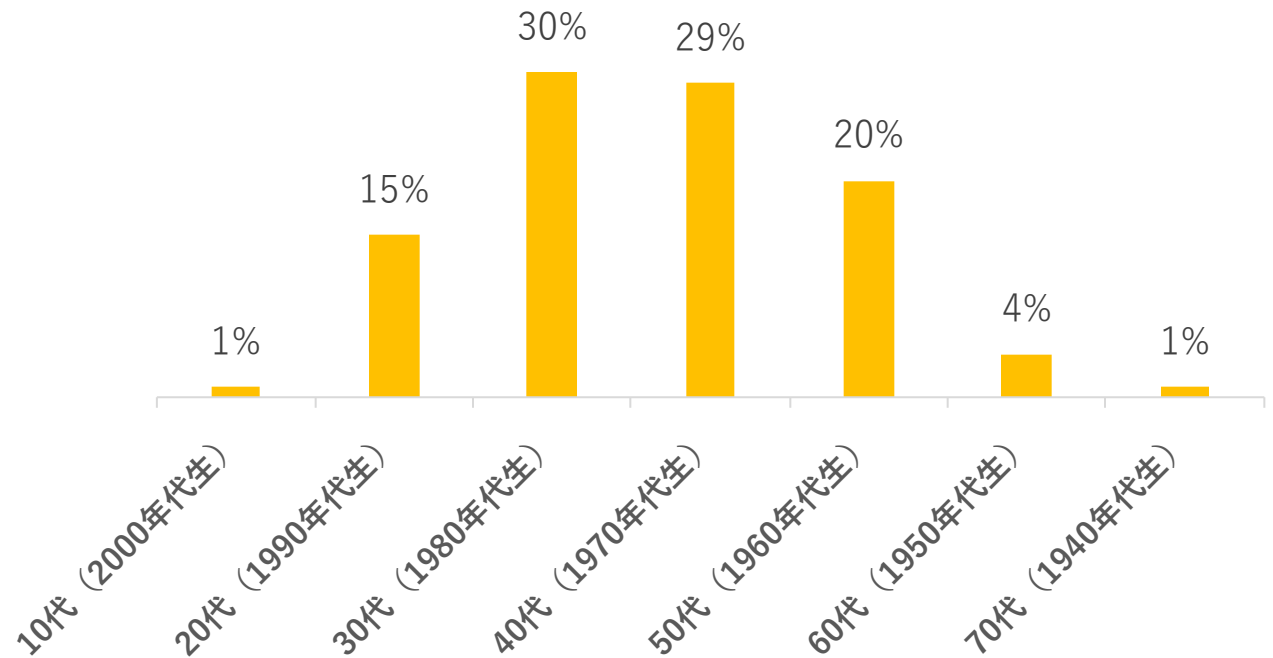
個人対象アンケート

① 個人対象アンケート | 性別・年代

56%が女性、40%が男性で、30代以下が46%を占める。



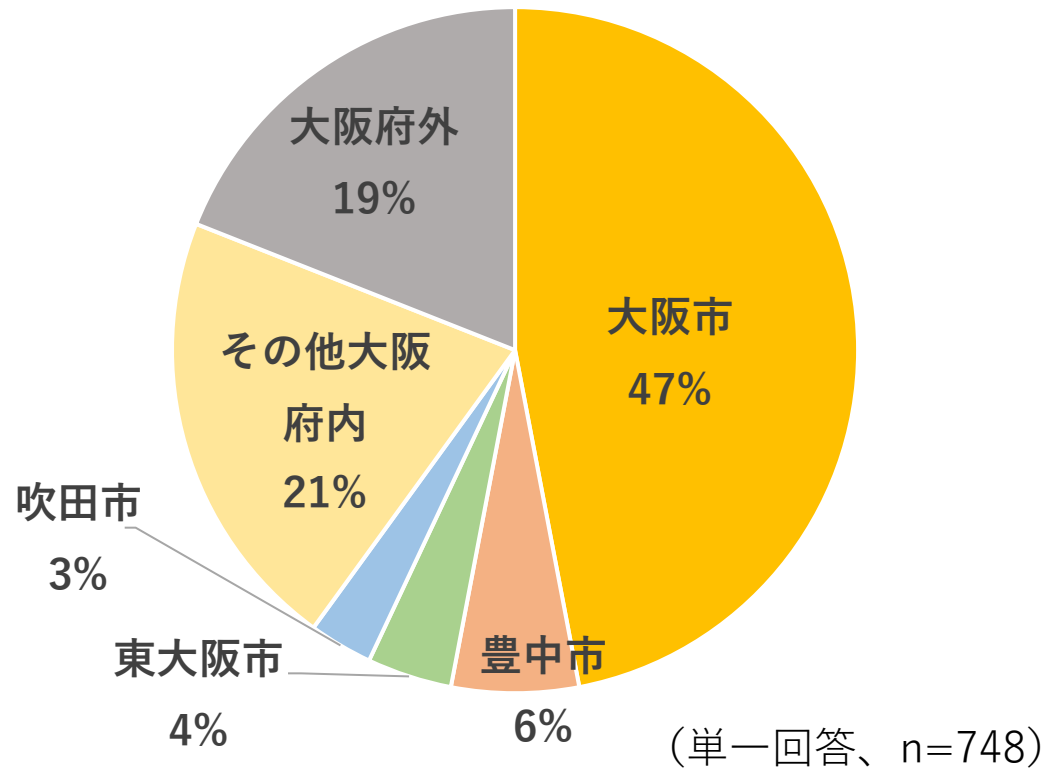
(単一回答、n=748)



(単一回答、n=748)

① 個人対象アンケート | 居住地

大阪市の47%をはじめ、府内34自治体の在住者より回答を得た。

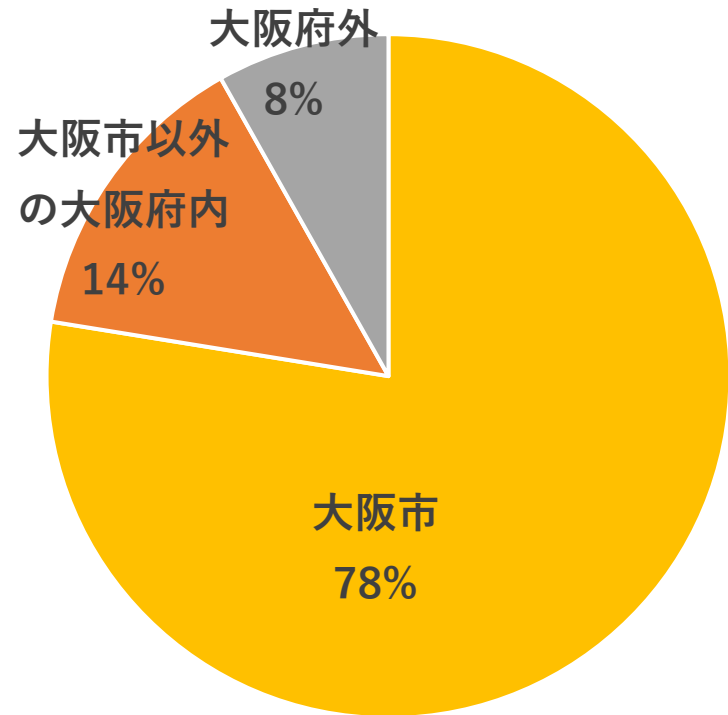


※ 「その他大阪府内」に含まれる自治体名（五十音順）

池田市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、茨木市、大阪狭山市、貝塚市、柏原市、交野市、河南町、河内長野市、岸和田市、熊取町、堺市、島本町、摂津市、泉南市、太子町、大東市、高石市、高槻市、富田林市、寝屋川市、羽曳野市、枚方市、藤井寺市、松原市、箕面市、守口市、八尾市

① 個人対象アンケート | 活動地

大阪市の78%をはじめ、府内22自治体での活動者より回答を得た。



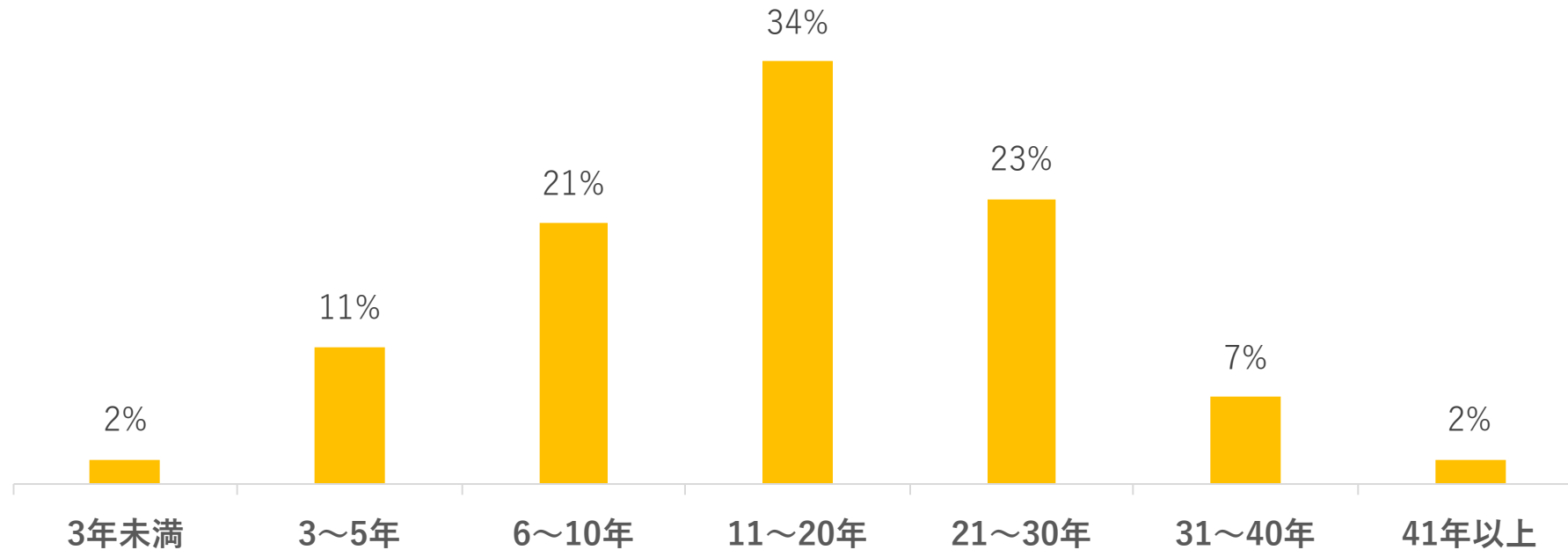
(単一回答、n=748)

※ 「大阪市以外の大阪府内」に含まれる自治体名
(五十音順)

池田市、和泉市、茨木市、大阪狭山市、柏原市、門真市、
河南町、河内長野市、岸和田市、堺市、吹田市、大東市、
高槻市、豊中市、豊能町、富田林市、阪南市、東大阪市、
枚方市、箕面市、八尾市

① 個人対象アンケート | 活動年数

11～20年が最も多く（34%）、次いで21～30年が多い（23%）。

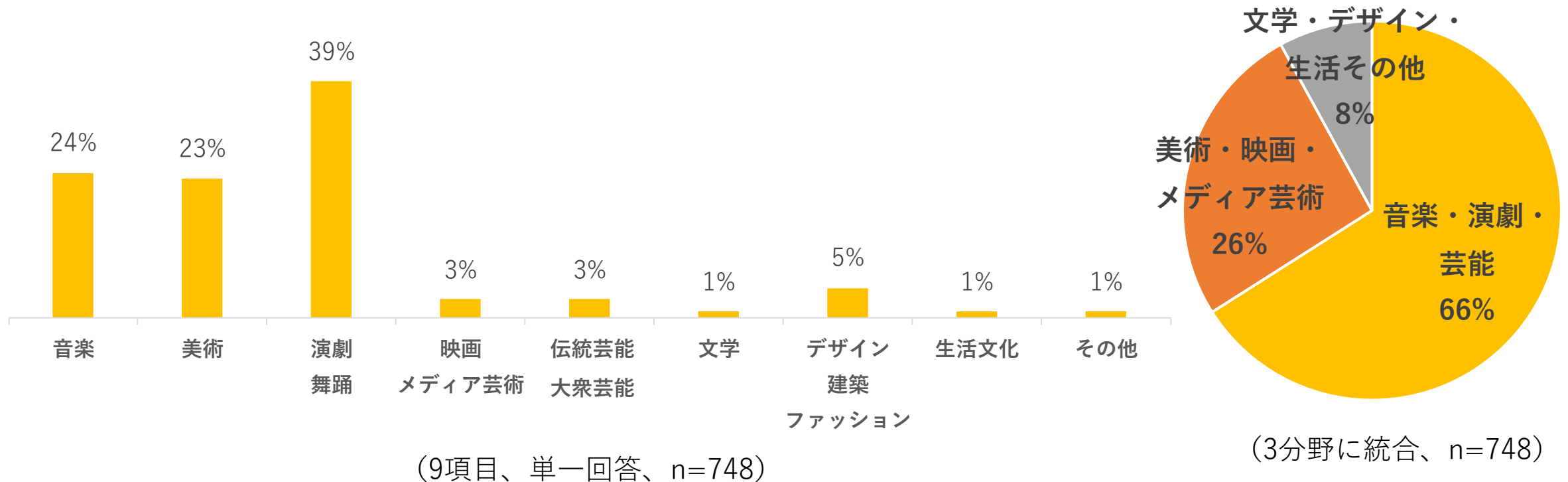


(数値回答を分類、n=748)

① 個人対象アンケート | 主たる表現分野

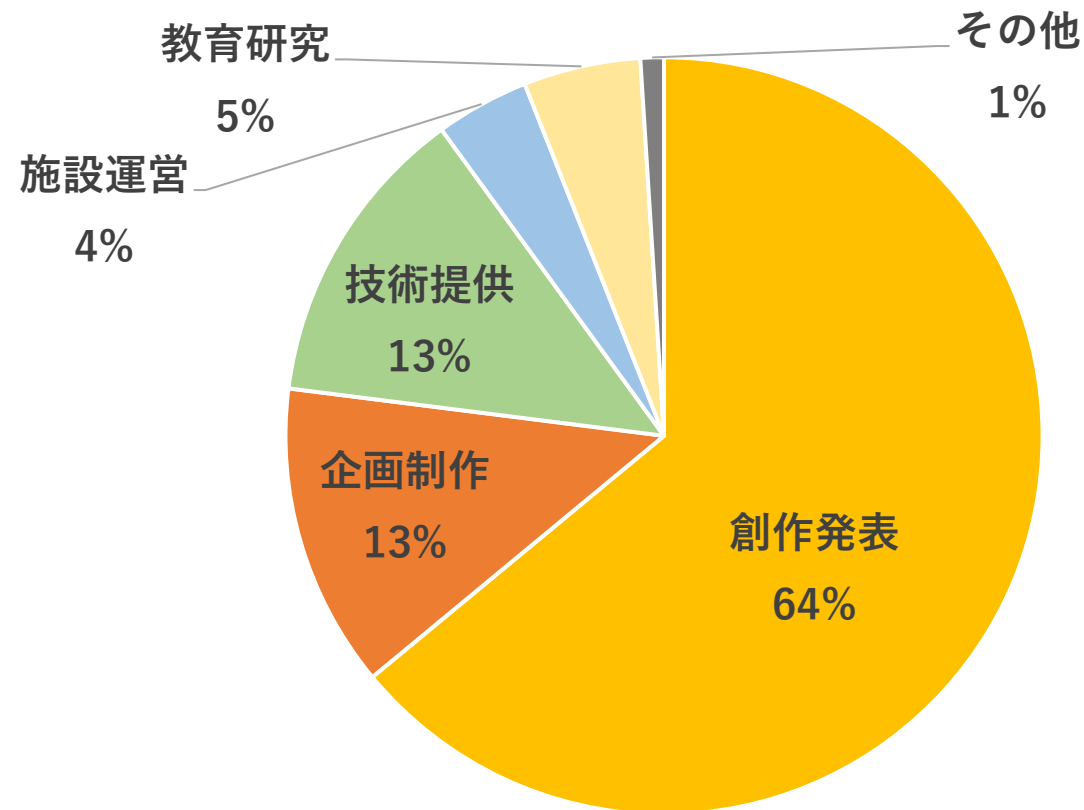
回答者の約4割が演劇・舞踊分野で、音楽分野、美術分野が続く。

上演系（音楽、舞台芸術、伝統芸能）が3分の2を占める。



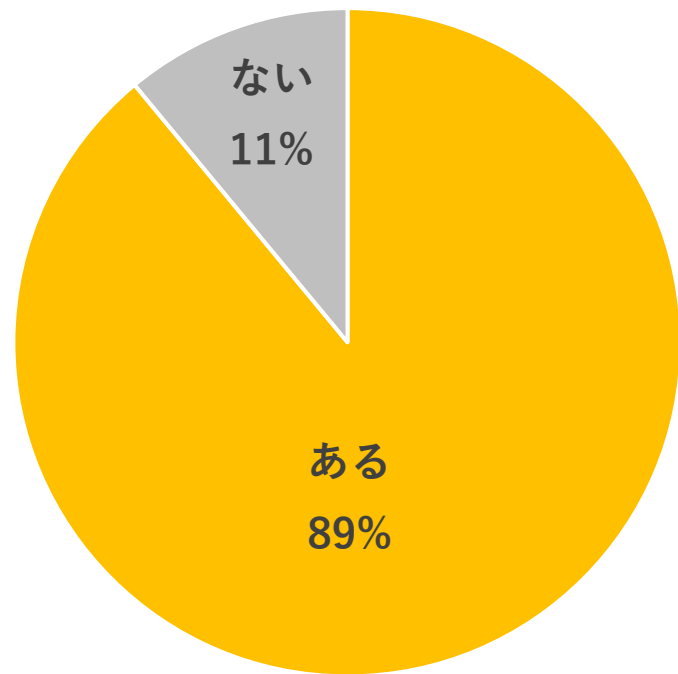
① 個人対象アンケート | 主たる技能分野

「創作発表」が64%、「企画制作」「技術提供」がともに13%

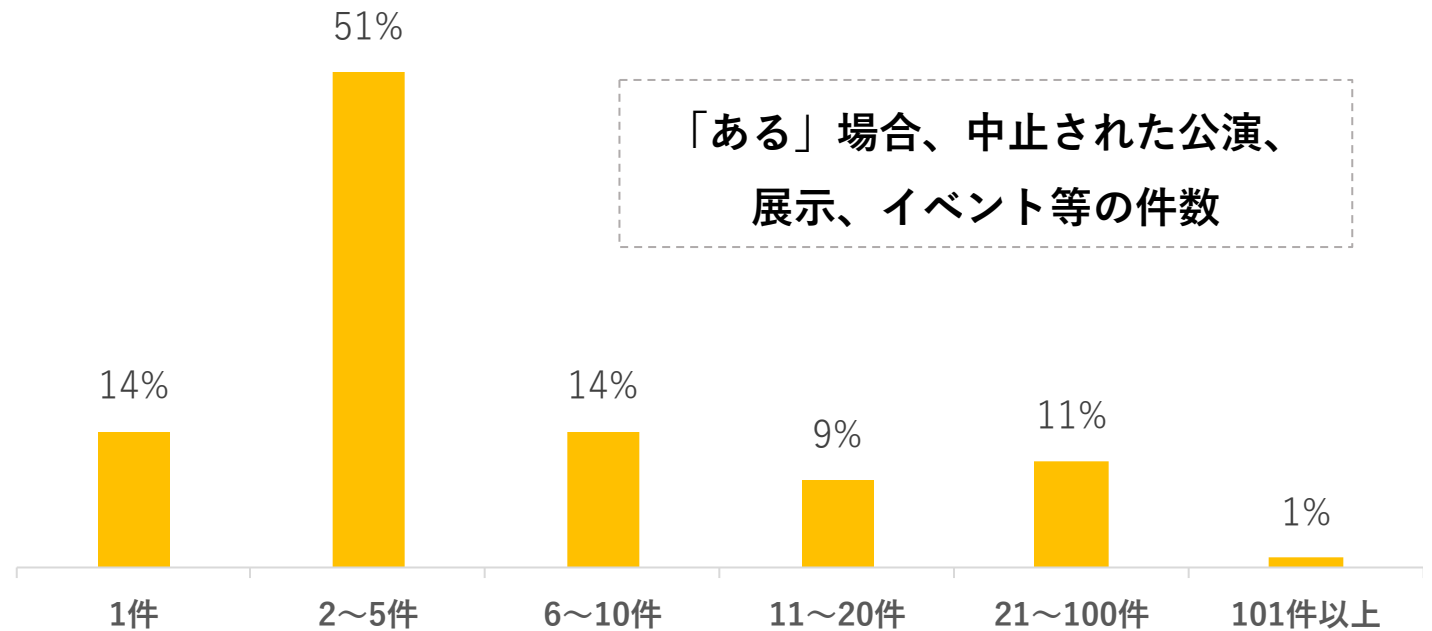


① 個人対象アンケート | 感染拡大防止のための中止・延期があるか・何件か

公演、展示、イベント等の中止・延期がある回答者が約9割



(単一回答、n=748)



「ある」場合、中止された公演、展示、イベント等の件数

(無回答、「0件」を除き数値回答を分類、n=659)

① 個人対象アンケート | 延期・中止による収入の損失積算額 【2月～5月・実績】、【6月～12月・見込み】

【2月～5月・実績】 損失積算額は約3億3千万円、平均額は約62万円

【6月～12月・見込み】 損失積算額は約4億8千万円、平均額は約121万円

| | 2月～5月(実績) | 6月～12月(見込み) | 損失積算額 (実績 + 見込み) 合計 814,874,779円 |
|-------------|--------------|--------------|---|
| 数値回答の件数 | 536件 | 400件 | |
| 収入の損失積算額の合計 | 329,986,055円 | 484,888,724円 | |
| 収入の損失積算額の平均 | 615,646円 | 1,212,222円 | |
| 最大値 | 50,000,000円 | 150,000,000円 | |

(「わからない」、無回答、異常値は除く)

① 個人対象アンケート | 技能分野別の収入の損失額 【2月～5月・実績】、【6月～12月・見込み】

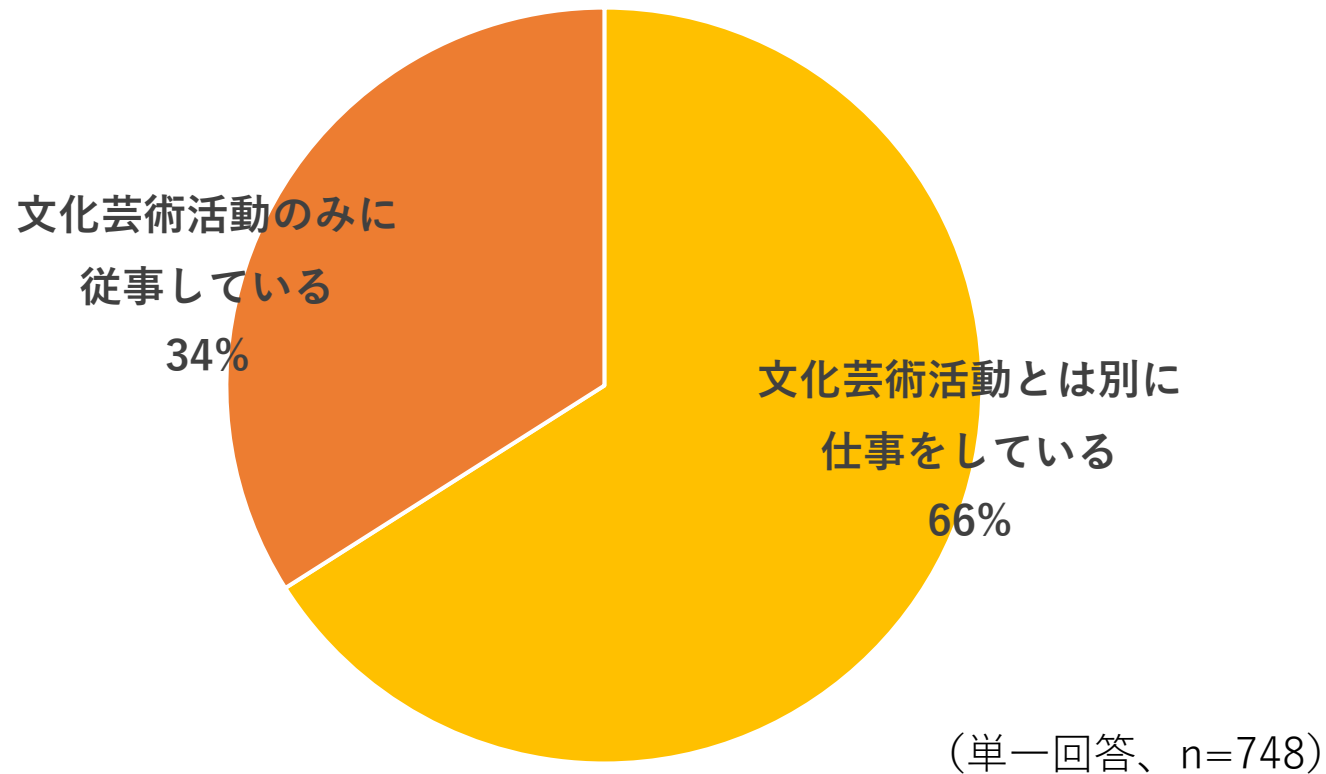
【2月～5月・実績】、【6月～12月・見込み】ともに、「**技術提供**」の損失額の平均が他の分野よりも大きい。

| | 2020年2月～5月の 損失額（実績）の平均 | 2020年6月～12月の 損失額（見込み）の平均 |
|-------------|---------------------------|-----------------------------|
| 創作発表 | 271,243円 | 336,898円 |
| 企画制作 | 1,130,095円 | 3,066,670円 |
| 技術提供 | 1,675,372円 | 3,538,838円 |
| 施設運営 | 1,171,054円 | 837,337円 |
| 教育研究 | 258,276円 | 593,639円 |
| その他 | 232,500円 | 666,667円 |

（「わからない」、無回答、異常値は除く）

① 個人対象アンケート | 文化芸術活動とは別の仕事

66%が文化芸術とは別に仕事をしており、文化芸術活動のみの従事は34%



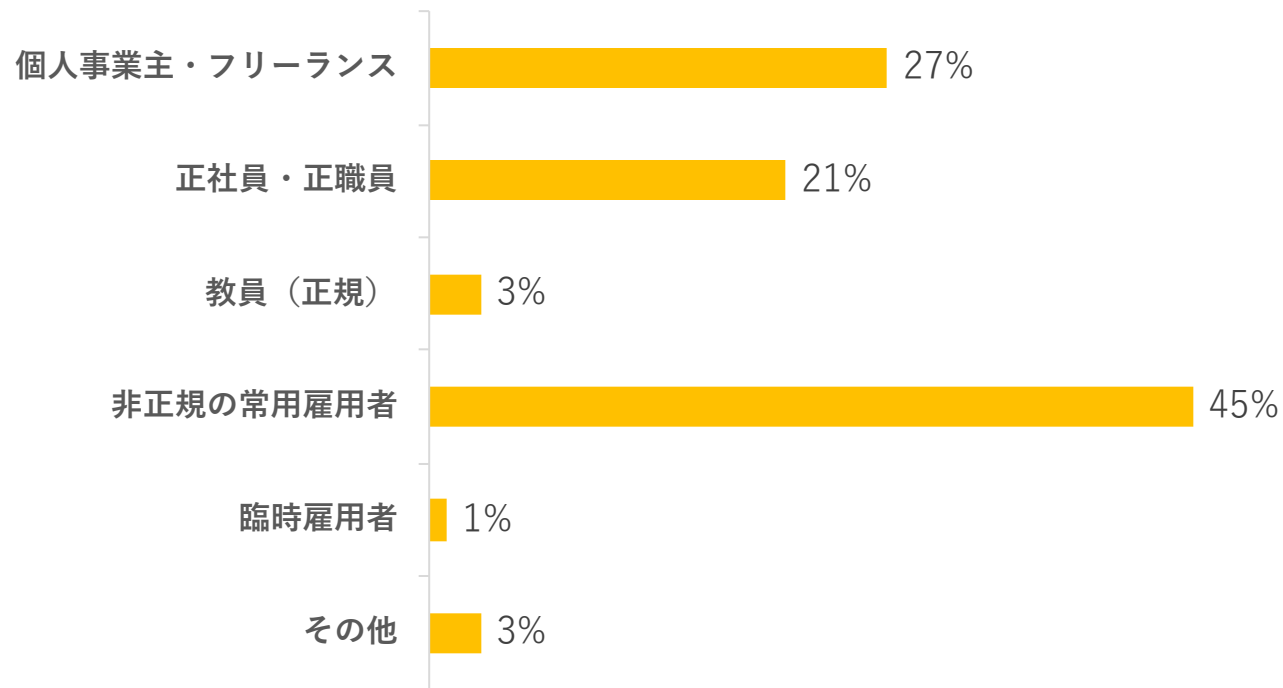
① 個人対象アンケート | 技能分野別による文化芸術のみの従事者

「技術提供」では、文化芸術活動のみに従事している回答者が約6割

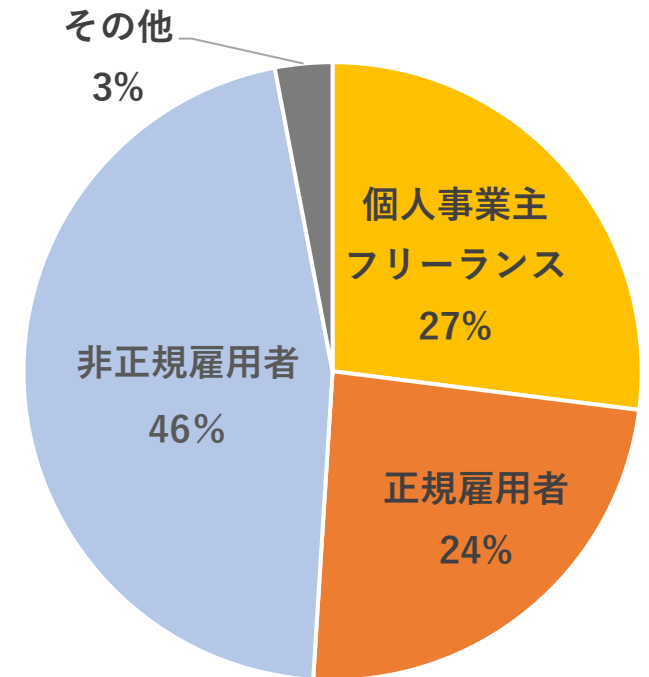
| | 文化芸術活動とは別に 仕事をしている | 文化芸術活動のみに 従事している |
|------|-----------------------|---------------------|
| 創作発表 | 77% | 23% |
| 企画制作 | 49% | 51% |
| 技術提供 | 37% | 63% |
| 施設運営 | 57% | 43% |
| 教育研究 | 67% | 33% |
| その他 | 60% | 40% |

① 個人対象アンケート | 別の仕事の雇用形態

別の仕事をしている回答者の約半数は、臨時雇用を含む非正規雇用者



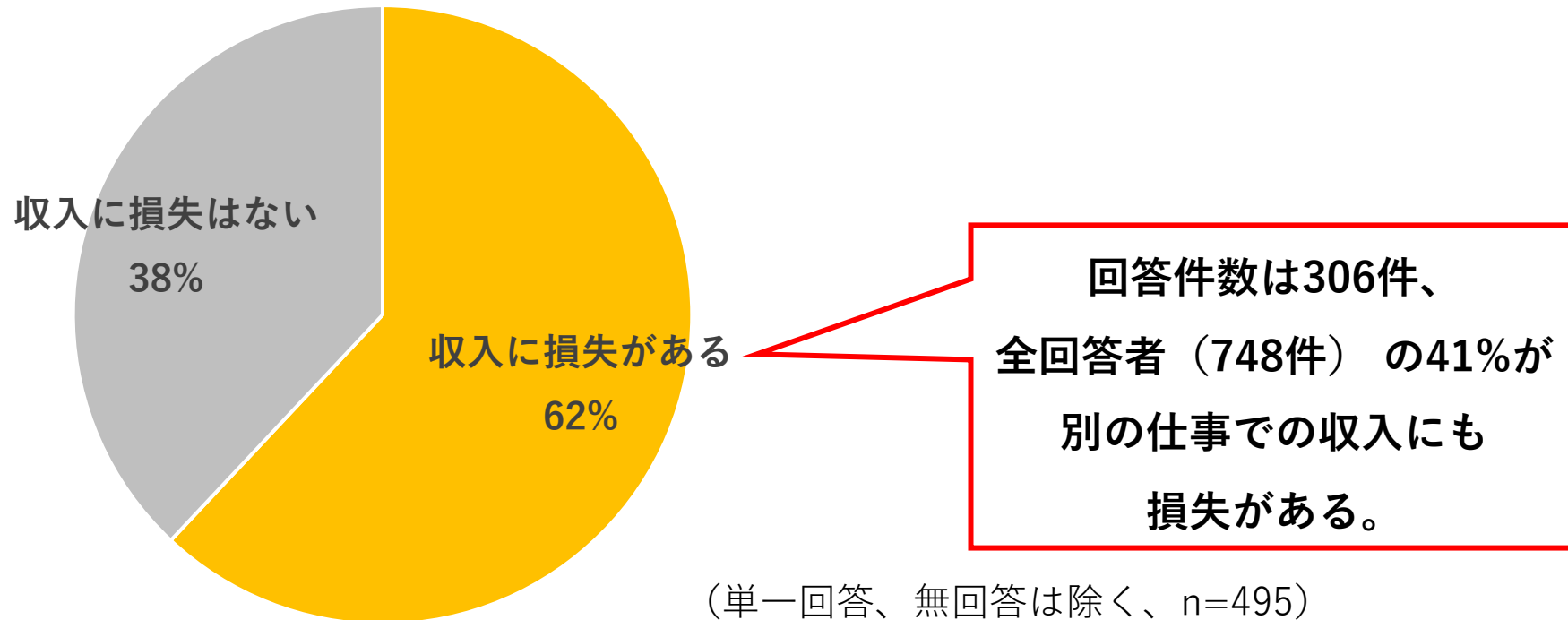
(単一回答、n=497)



(3分野に統合、n=497)

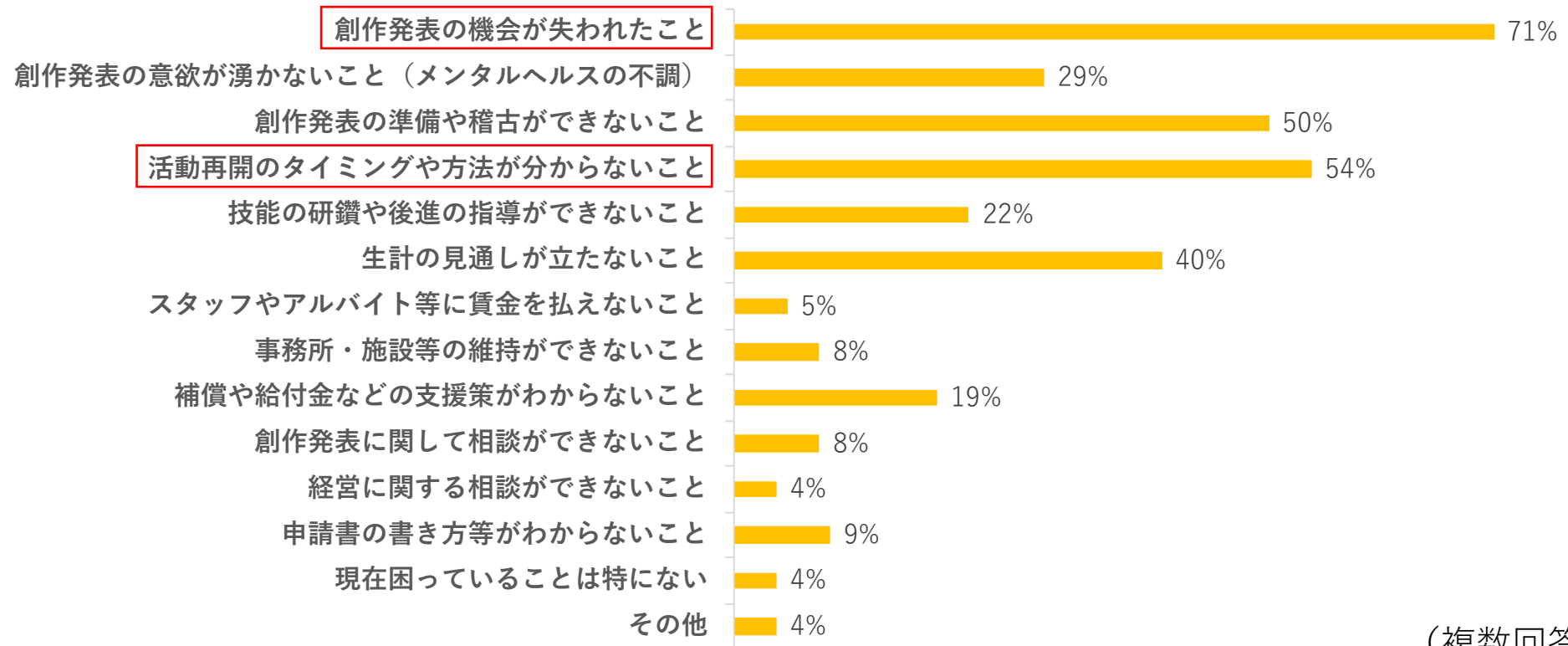
① 個人対象アンケート | 別の仕事の収入の損失

別の仕事をしている回答者のうち、62%がその仕事での収入にも損失がある。



① 個人対象アンケート | 現在困っていること

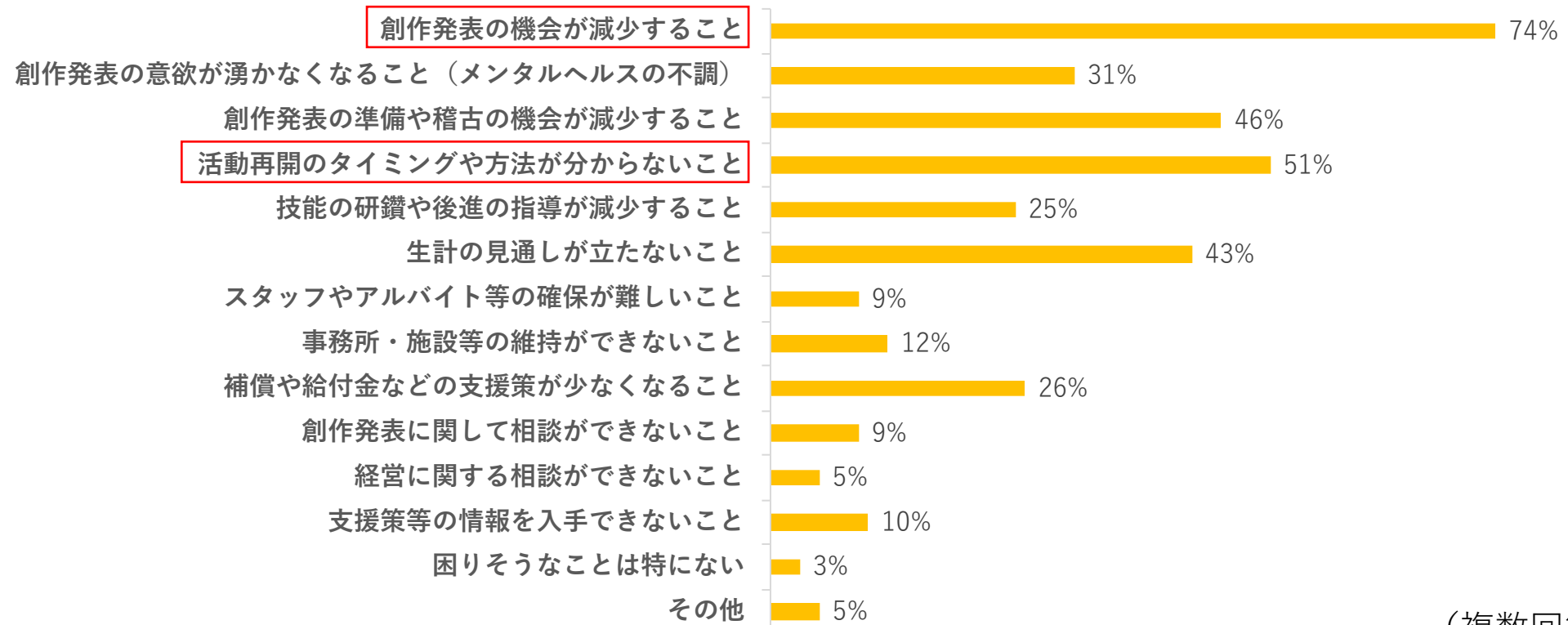
「創作発表の機会が失われたこと」が71%、「活動再開のタイミングや方法が分からないこと」が54%



(複数回答、n=748)

① 個人対象アンケート | 半年～1年先に困りそうなこと

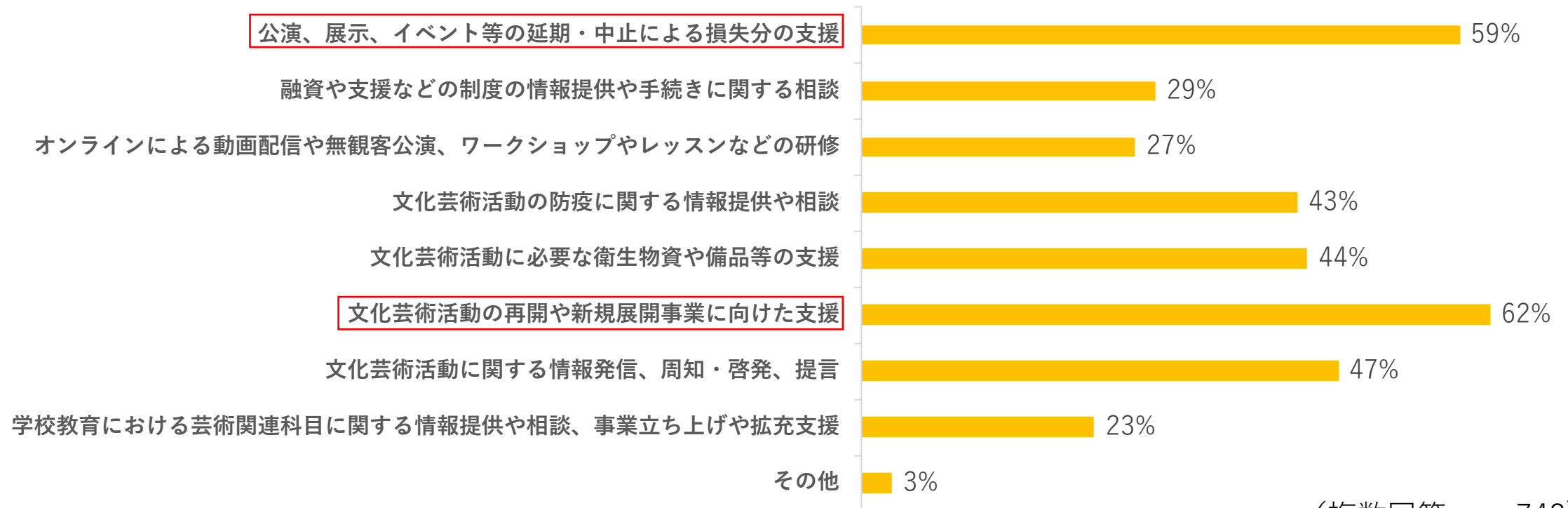
「創作発表の機会が減少すること」が74%、「活動再開のタイミングや方法が分からないこと」が51%



(複数回答、n=748)

① 個人対象アンケート | 必要としている支援

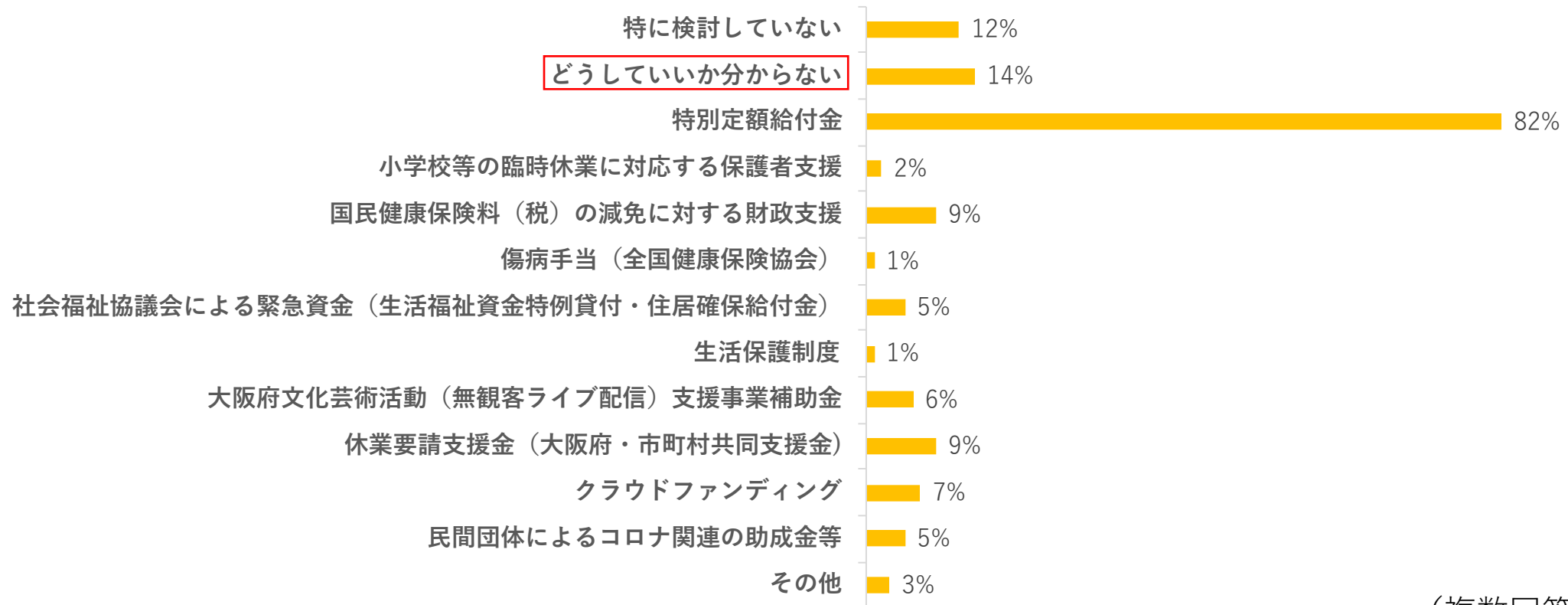
「文化芸術活動の再開や新規展開事業に向けた支援」が最多、「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援」も約6割



(複数回答、n=748)

① 個人対象アンケート | 活用している、または活用を検討している支援策や制度

「特別定額給付金（一律10万円給付）」が82%に次いで、「どうしていいかわからない」が14%



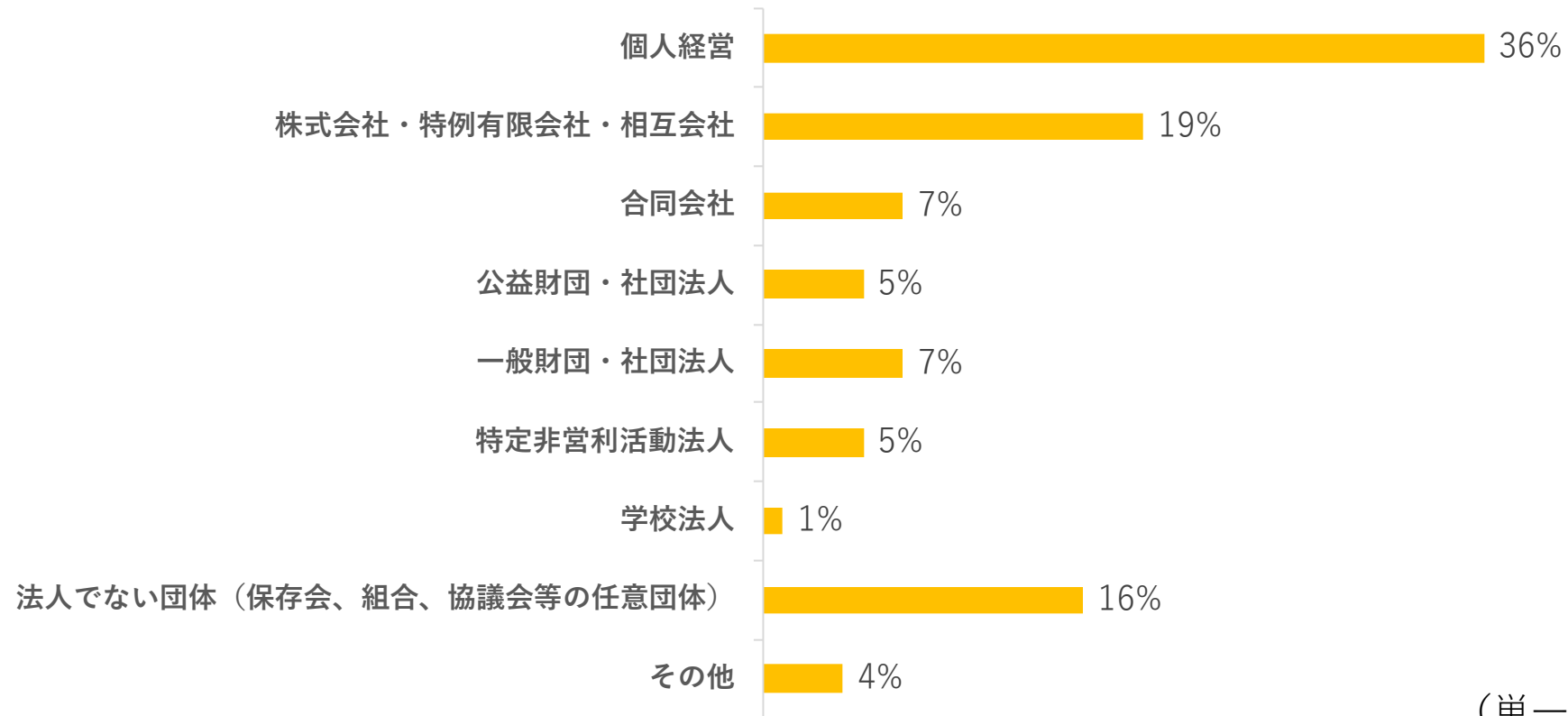
（複数回答、n=748）

調査対象 ②

団体・事業所対象アンケート

② 団体・事業所対象アンケート | 経営形態

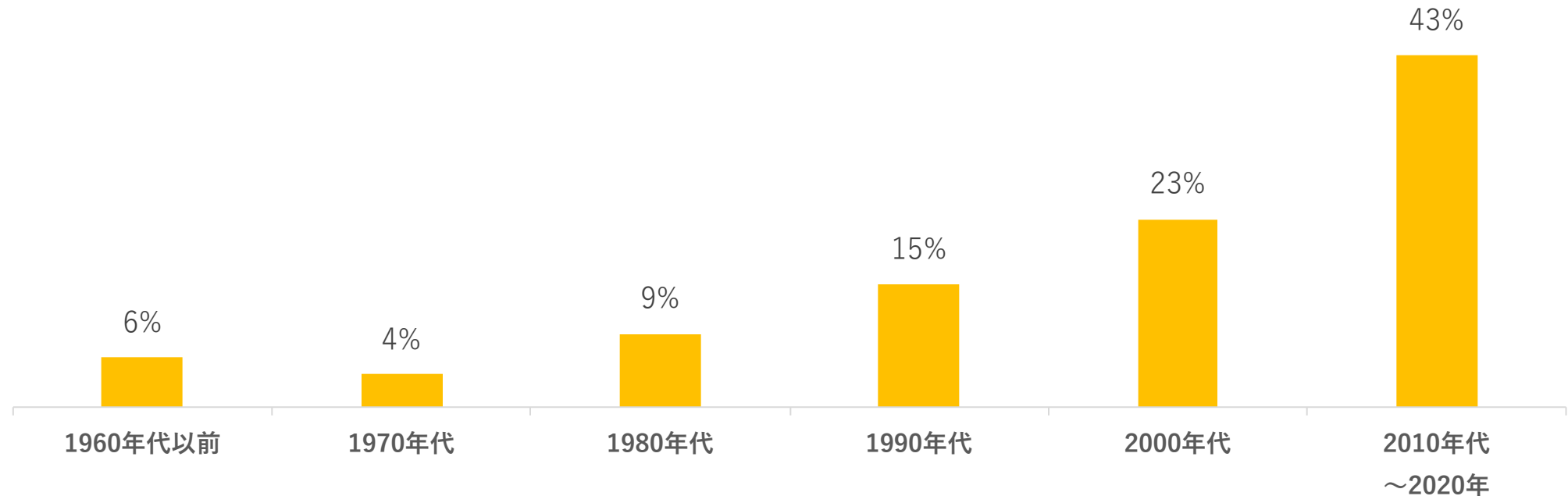
36%が個人経営、19%が株式会社・特例有限会社・相互会社、法人でない団体は16%



(単一回答、n=162)

② 団体・事業所対象アンケート | 活動開始年

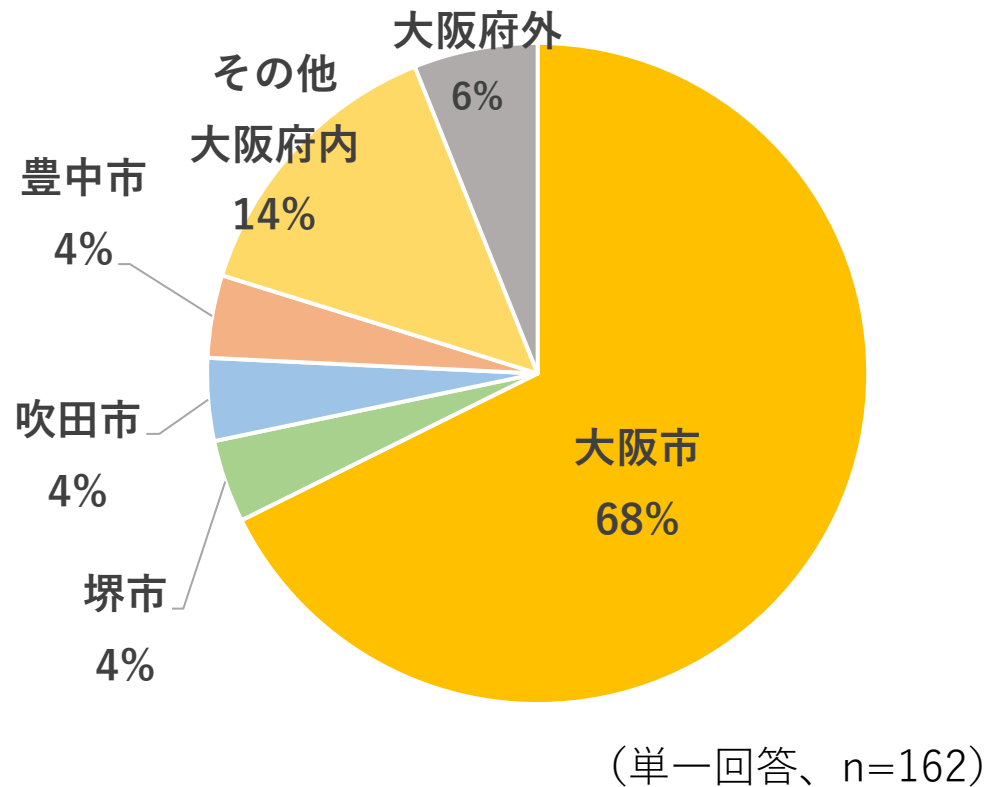
2000年以降に活動開始との回答が3分の2を占める。



(数値回答を分類、n=162)

② 団体・事業所対象アンケート | 所在地

大阪市の68%をはじめ、府内18の自治体に所在する団体・事業所より回答を得た。

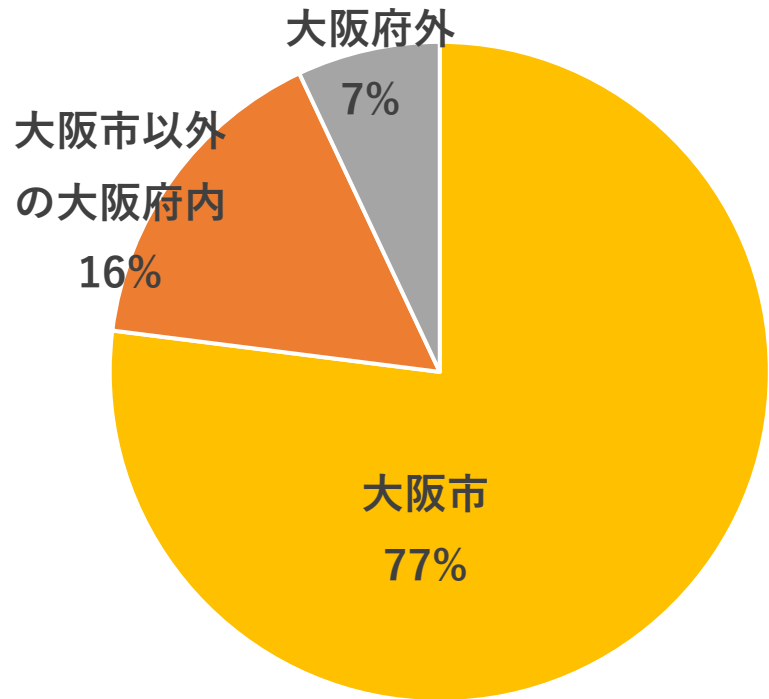


※ 「その他大阪府内」に含まれる自治体名 (五十音順)

泉大津市、茨木市、河内長野市、岸和田市、摂津市、大東市、高槻市、豊能町、富田林市、東大阪市、枚方市、箕面市、守口市、八尾市

② 団体・事業所対象アンケート | 活動地

大阪市の77%をはじめ、府内13の自治体で活動する団体・事業所より回答を得た。



(数値回答を分類、n=162)

※ 「大阪市以外の大阪府内」に含まれる自治体名
(五十音順)

河内長野市、岸和田市、堺市、吹田市、高槻市、豊中市、
豊能町、富田林市、東大阪市、箕面市、守口市、八尾市

② 団体・事業所対象アンケート | 団体・事業所の従業者数【有償】 【無償】

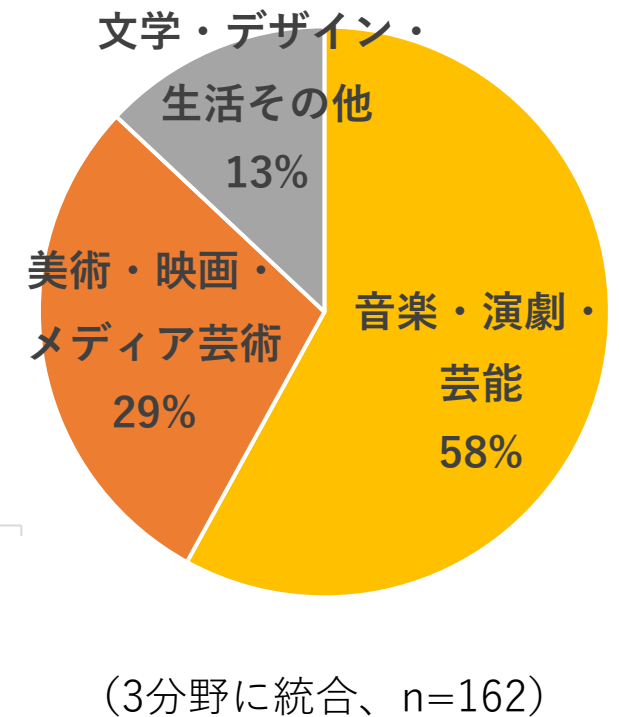
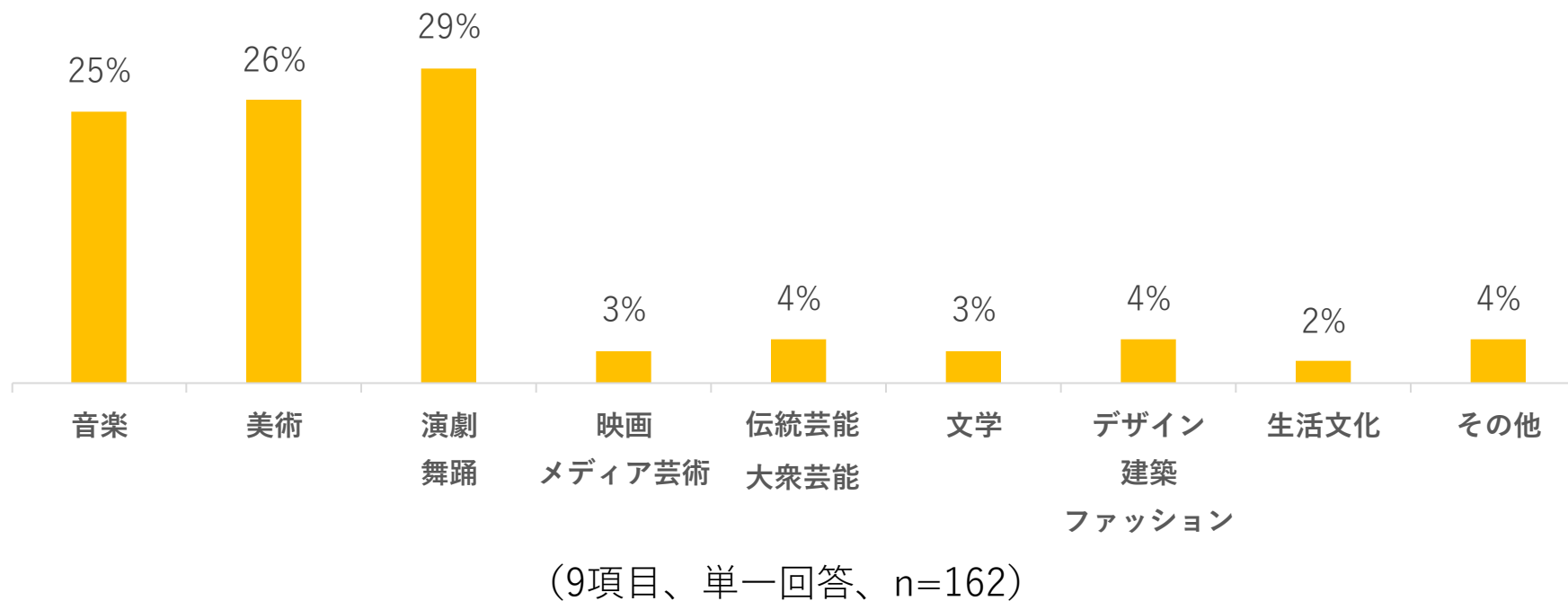
団体・事業所の従業者数の計は、平均で15.3人、有償の従業者の平均は11.6人

| | 有償（平均 最大値） [人] | | 無償（平均 最大値） [人] | |
|------------------|------------------|-----|------------------|-----|
| | 平均 | 最大値 | 平均 | 最大値 |
| 個人経営 | 1.5 | 12 | 1.1 | 11 |
| 株式会社・特例有限会社・相互会社 | 30.0 | 500 | 0.1 | 3 |
| 合同会社 | 3.4 | 7 | 3.2 | 30 |
| 公益財団・社団法人 | 34.1 | 93 | 0 | 0 |
| 一般財団・社団法人 | 25.1 | 180 | 3.4 | 10 |
| 特定非営利活動法人 | 7.7 | 53 | 14.6 | 70 |
| 学校法人 | 54.5 | 69 | 1.0 | 2 |
| 法人でない団体 | 1.8 | 16 | 11.7 | 83 |
| その他 | 9.3 | 32 | 4.3 | 10 |

② 団体・事業所対象アンケート | 主たる表現分野

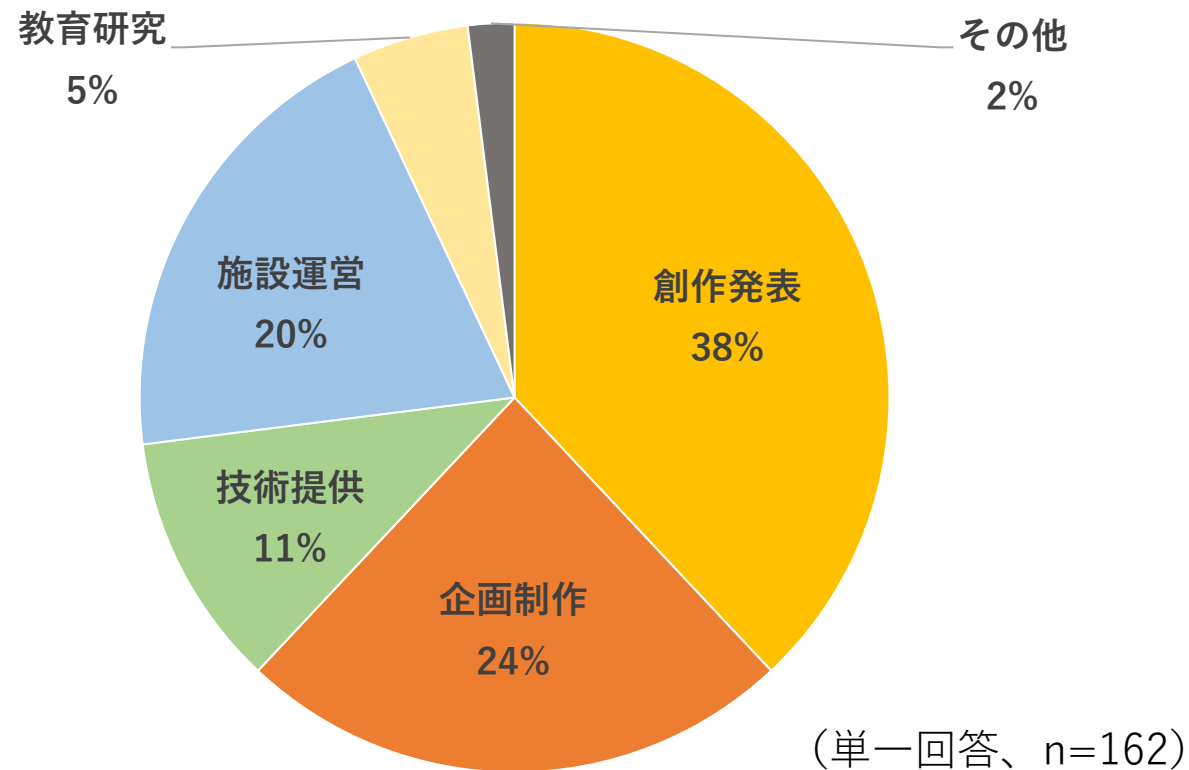
回答者の29%が演劇分野で、美術分野、音楽分野が続く。

上演系（音楽、舞台芸術、伝統芸能）が約6割を占める。



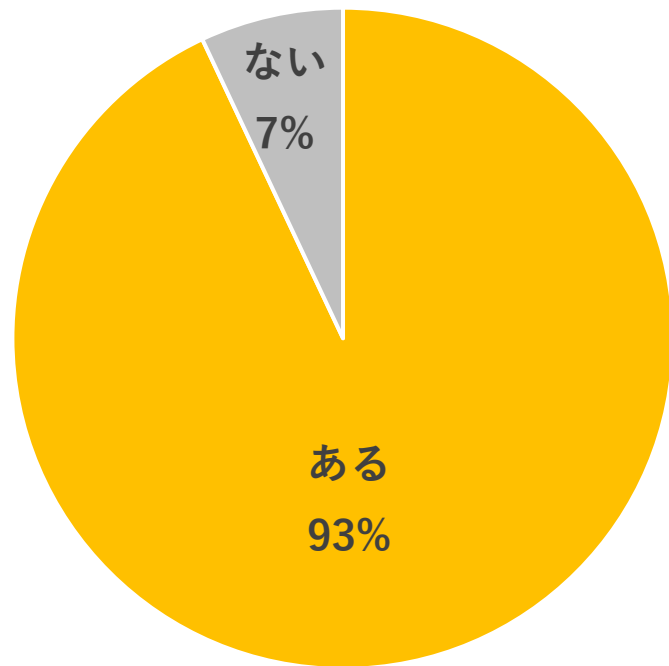
② 団体・事業所対象アンケート | 主たる技能分野

「創作発表」が38%、「企画制作」が24%、「施設運営」が20%

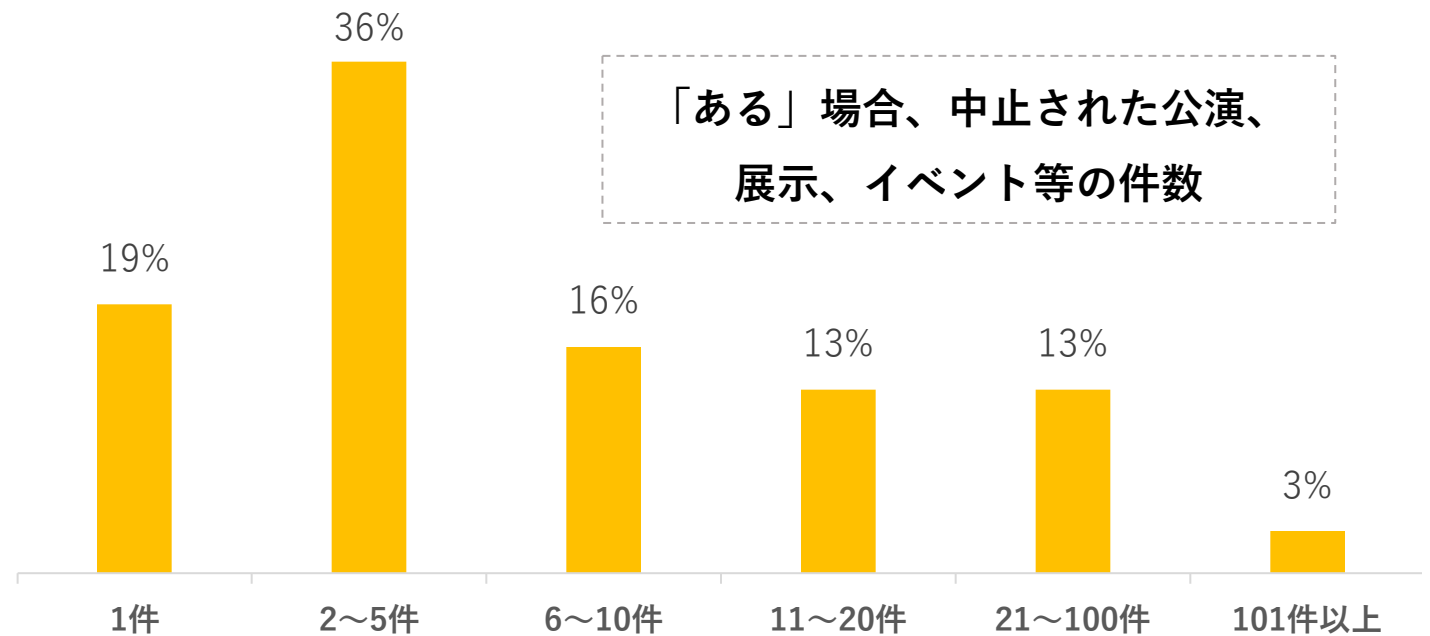


② 団体・事業所対象アンケート | 感染拡大防止のための中止・延期があるか・何件か

公演、展示、イベント等の中止・延期がある回答者が93%



(単一回答、n=162)



「ある」場合、中止された公演、展示、イベント等の件数

(「0件」を除き数値回答を分類、n=149)

② 団体・事業所対象アンケート | 延期・中止による収入の損失積算額 【2月～5月・実績】、【6月～12月・見込み】

【2月～5月・実績】 損失積算額は約6億5千万円、平均額は約528万円

【6月～12月・見込み】 損失積算額は約7億9千万円、平均額は約852万円

| | 2月～5月(実績) | 6月～12月(見込み) |
|-------------|--------------|--------------|
| 数値回答の件数 | 123件 | 93件 |
| 収入の損失積算額の合計 | 649,334,657円 | 792,217,690円 |
| 収入の損失積算額の平均 | 5,279,144円 | 8,518,470円 |
| 最大値 | 92,820,815円 | 150,000,000円 |

損失積算額
(実績 + 見込み)
合計
1,441,552,347円

(「わからない」、無回答は除く)

② 団体・事業所対象アンケート | 技能分野別の収入の損失額 【2月～5月・実績】、【6月～12月・見込み】

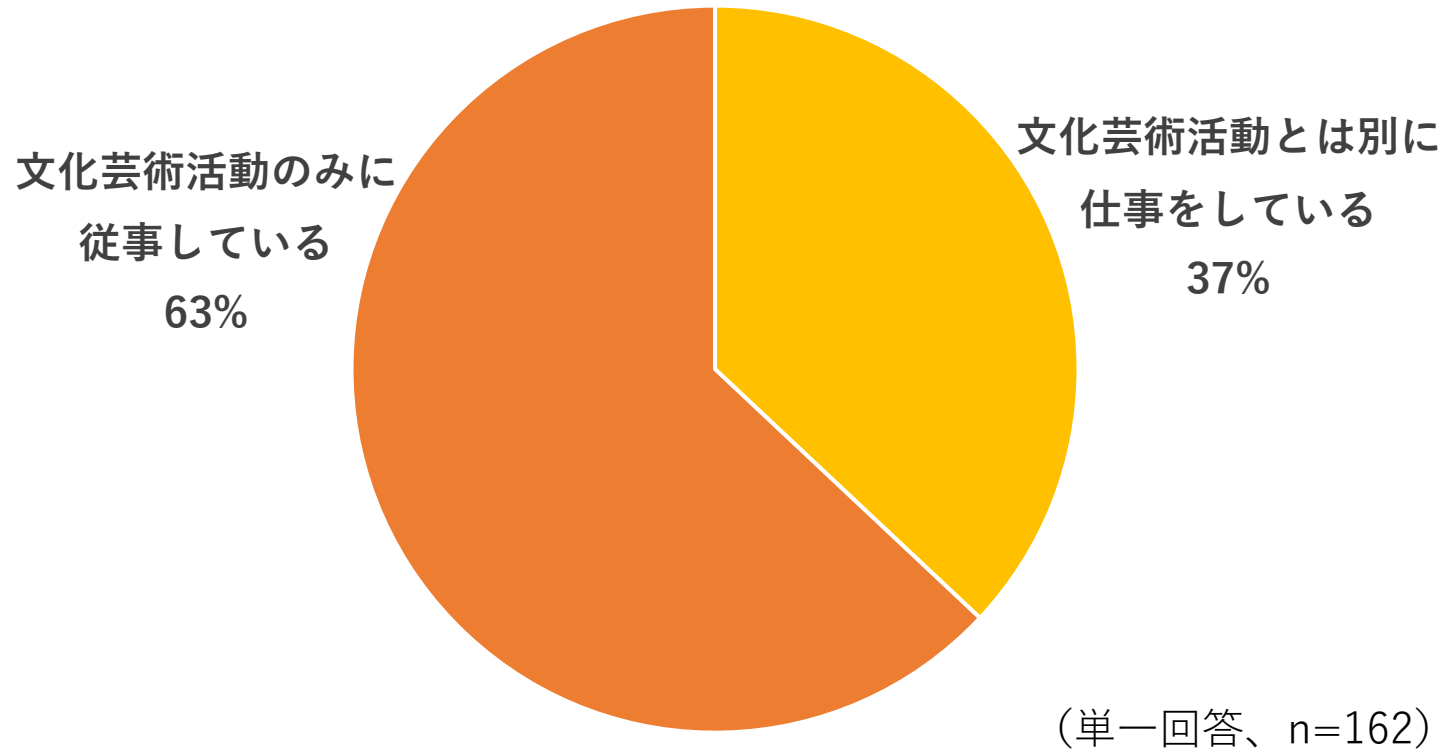
「施設運営」では、損失額の平均が他の分野よりも大きい。

| | 2020年2月～5月の 損失額（実績）の平均 | 2020年6月～12月の 損失額（見込み）の平均 |
|------|---------------------------|-----------------------------|
| 創作発表 | 3,607,650円 | 3,859,634円 |
| 企画制作 | 6,711,107円 | 6,851,905円 |
| 技術提供 | 5,963,337円 | 12,500,000円 |
| 施設運営 | 7,749,501円 | 17,933,710円 |
| 教育研究 | 1,108,333円 | 250,000円 |
| その他 | 1,275,000円 | 3,166,667円 |

（「わからない」、無回答は除く）

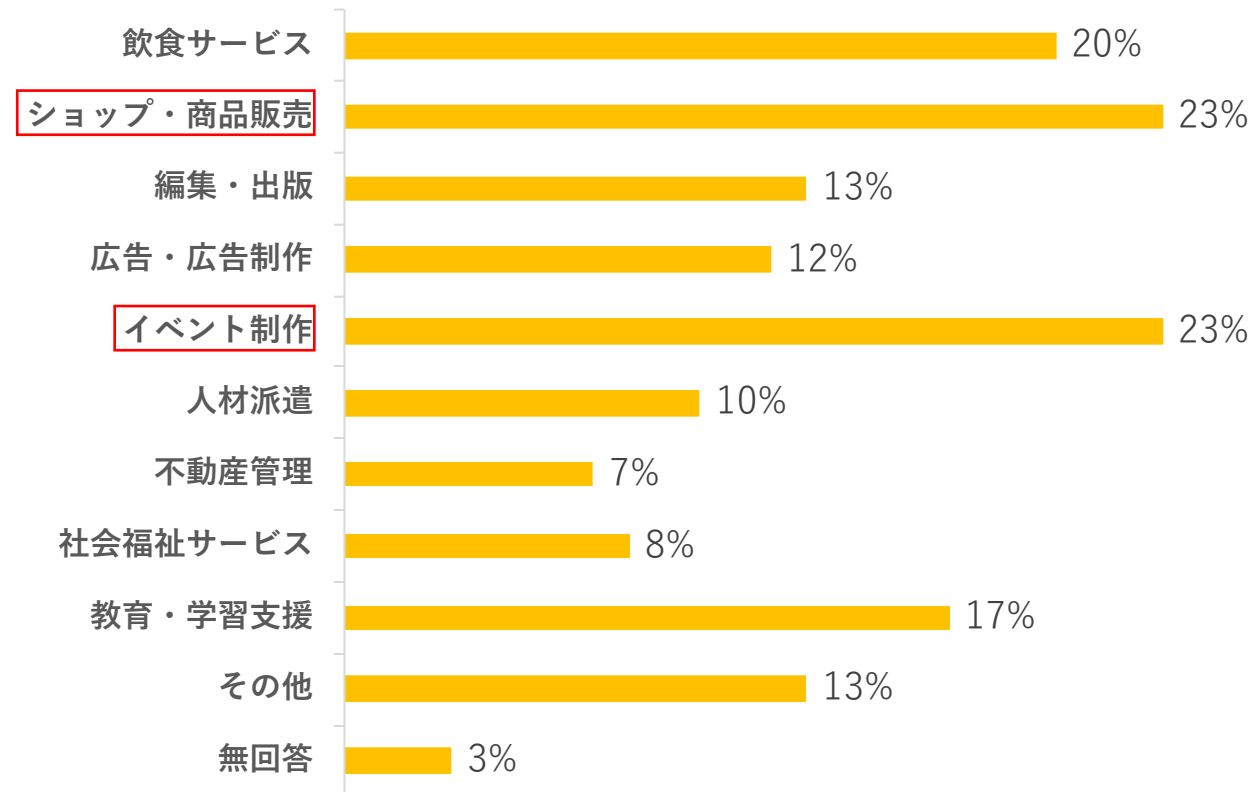
② 団体・事業所対象アンケート | 文化芸術活動とは別の業務

37%が文化芸術とは別に業務をしており、文化芸術活動のみの従事は63%



② 団体・事業所対象アンケート | 別業務の分野

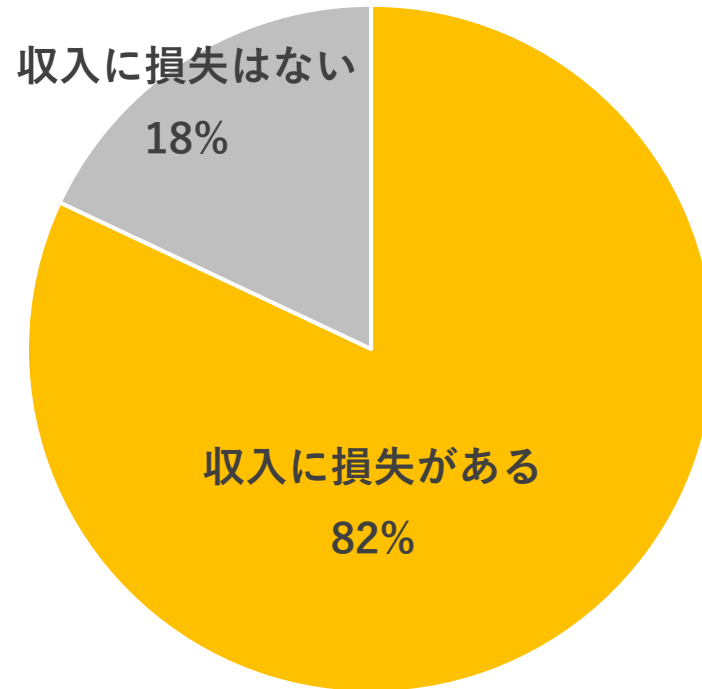
別の業務として「ショップ・商品販売」と「イベント制作」が23%



(複数回答、n=60)

② 団体・事業所対象アンケート | 別業務の収入の損失

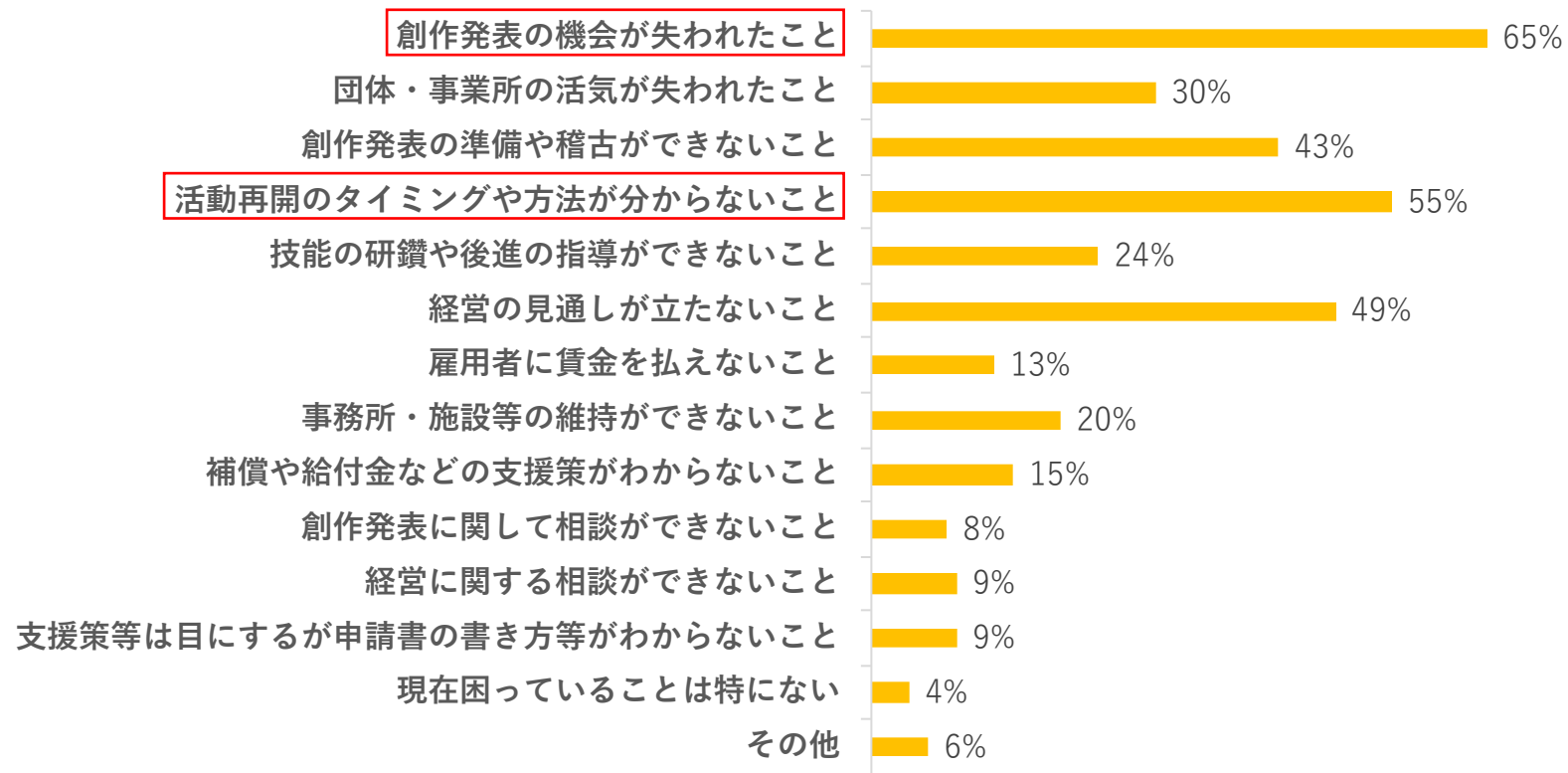
別の業務をしている回答者のうち、**82%がその業務での収入にも損失がある。**



(単一回答、n=60)

② 団体・事業所対象アンケート | 現在困っていること

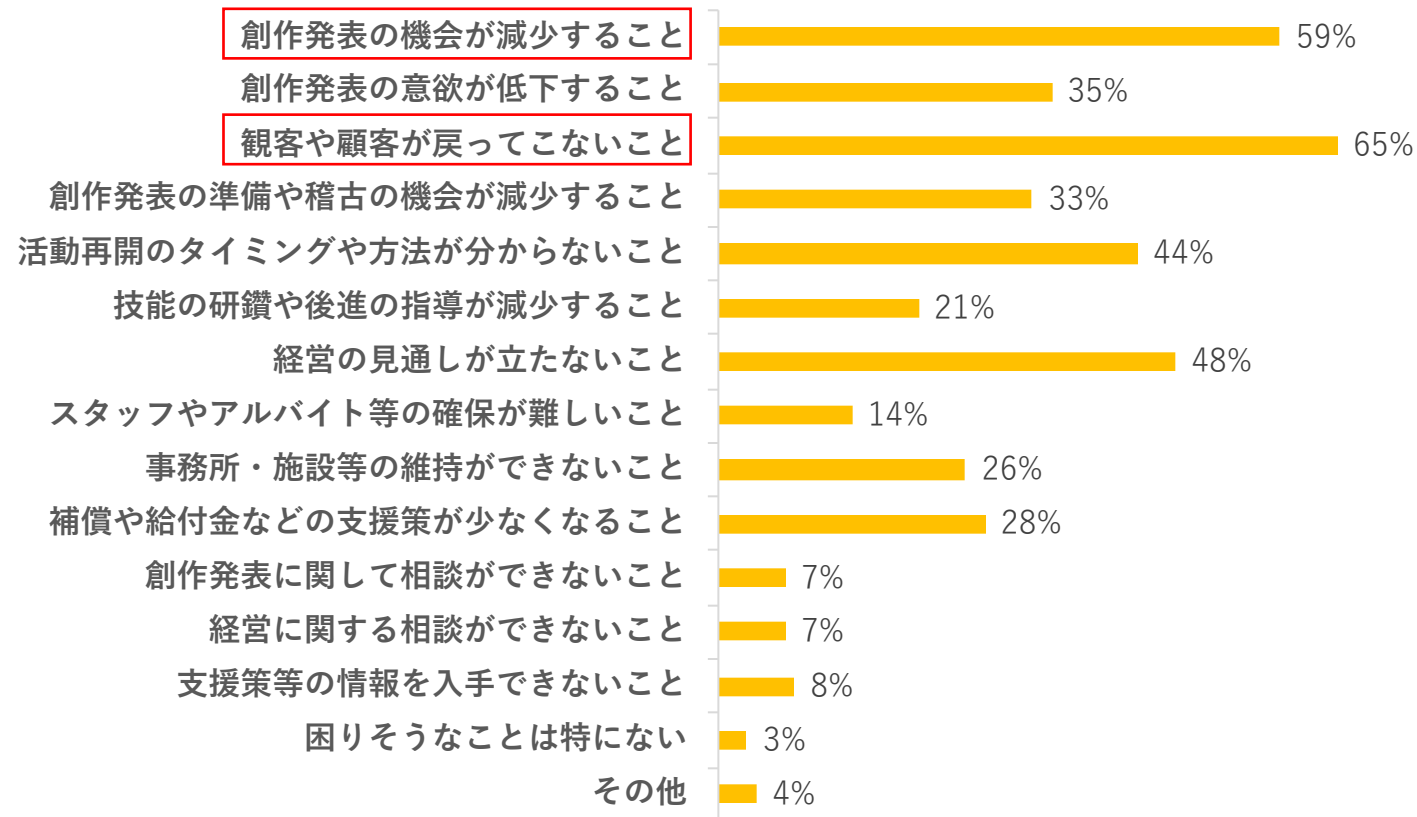
「創作発表の機会が失われたこと」が65%、「活動再開のタイミングや方法がわからないこと」が55%



(複数回答、n=162)

② 団体・事業所対象アンケート | 半年～1年後に困りそうなこと

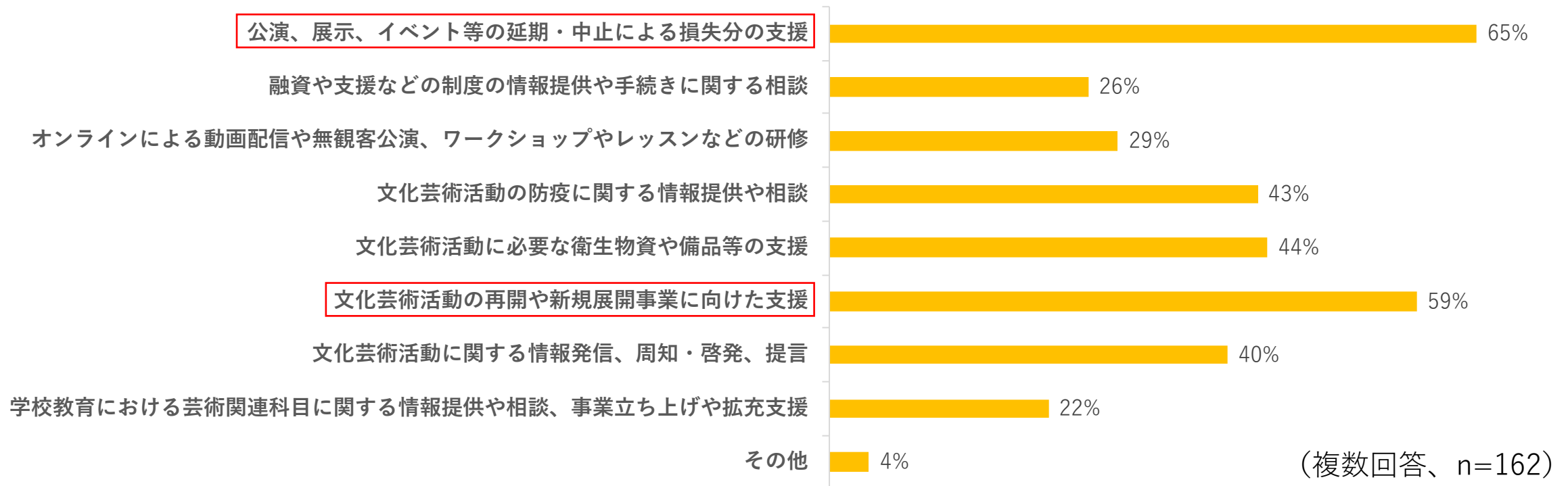
「観客や顧客が戻ってこないこと」が最多の65%、「創作発表の機会が減少すること」も約6割と多い。



(複数回答、n=162)

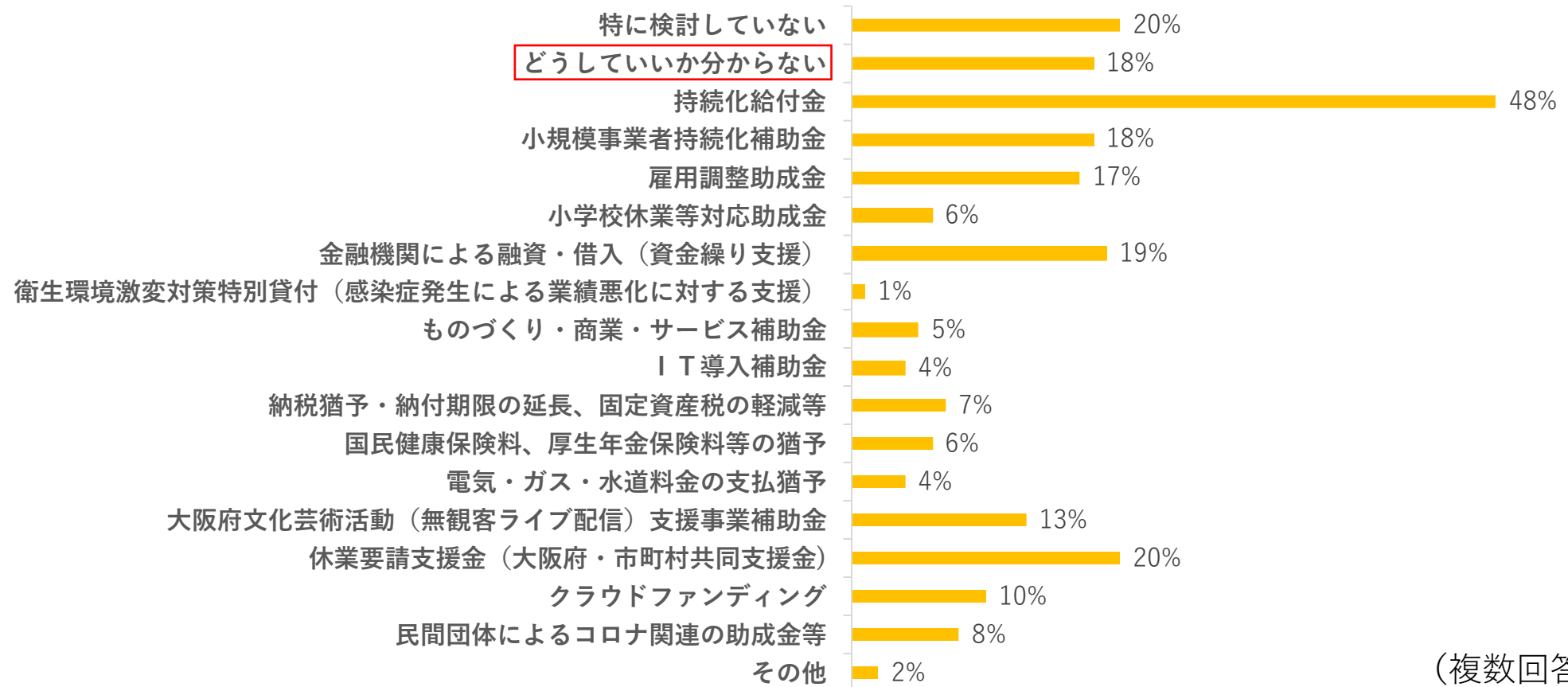
② 団体・事業所対象アンケート | 必要としている支援

「公演、展示、イベント等の延期・中止による損失分の支援」が65%、「文化芸術活動の再開や新規展開事業に向けた支援」が59%



② 団体・事業所対象アンケート | 活用している、または活用を検討している支援策や制度

複数の支援策を活用する団体がある一方で、「どうしていいかわからない」が約2割



ご協力ありがとうございました

SURVEY on the Impact
of COVID-19

大阪における文化芸術関係者への
新型コロナウイルスの影響に関する
実態調査

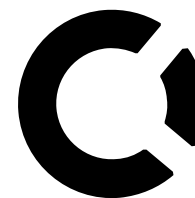
アンケート回答締切 2020.6/5 fri

全ての表現分野の、創作発表、企画制作、技術提供、施設運営、教育研究等に関わる
個人、団体、事業所が対象です
行政や民間の文化芸術支援を検討する際の資料とするため、ご協力をお願いします

on arts & culture of **OSAKA**

[本調査告知用のバナー]

調査主体：
一般財団法人おおさか創造千島財団



おおさか創造千島財団

協力：
大阪アーツカウンシル

